

2022年9月9日

石巻市震災遺構門脇小学校  
震災伝承みやぎコンソーシアム設立会議

# 東北で歴史を語り伝え継ぐとは

東北大学名誉教授  
サン・ファン館館長  
平川 新

# 震災の実態を認識し、経験や教訓として将来へ継承 するために必要な資料や情報

## ①写真・動画・文字記録・証言など

東北大学震災アーカイブ「みちのく震録伝」  
国立国会図書館東日本大震災アーカイブ  
東日本大震災アーカイブ宮城  
NHKアーカイブス - 災害 ほか

## ②各種調査データ、科学的分析成果

各分野の国内・国外の研究者が被災地で活動  
地震・津波のメカニズム、被災状況、復旧計画など

## ③実物としての遺構、遺物など

被災建造物、被災車両、打ち上げられた船舶など

# 各地の震災遺構



1983年三宅島噴火遺構

溶岩流に埋没した学校



土石流で埋没した住宅群  
(隣接地には「道の駅」が建設された)

1991年雲仙普賢岳噴火遺構



2004年新潟中越地震水没家屋(山古志村)



1995年神戸港震災メモリアルパーク

# 東日本震災の震災遺構保存の取り組み

## 3. 11震災伝承研究会の発足 2012年春

研究者、行政マン、ジャーナリストなど13人

### 3. 11震災伝承研究会 名簿

- ガレキの撤去等で被災物の処分が進行
- ・復旧には津波残骸物の処分は不可欠
- ・だが津波痕跡を刻印した実物は残したい

### ●活動内容

- ・遺構リストの作成
- ・遺構リストの公表と啓発活動
- ・行政(国、自治体)へのはたらきかけ

今村 文彦	東北大学 災害科学国際研究所 副所長
木村 拓郎	一般社団法人 減災・復興支援機構 理事長
熊谷 良哉	宮城県 震災復興・企画部 地域復興支援課 課長
古関 良行	河北新報社 報道部 震災取材班
齊藤 恵理	文化環境研究所 取締役
櫻井 雅之	宮城県 土木部 都市計画課 課長
首藤 伸夫	東北大学 名誉教授
所澤 新一郎	共同通信社 仙台支社 編集部
谷口 宏充	東北大学 名誉教授
福留 邦洋	東北工業大学 安全安心生活デザイン学科 准教授
平川 新	東北大学 災害科学国際研究所 所長
三橋 勇	宮城大学 事業構想学部 教授
宮城 豊彦	東北学院大学 教養学部 教授

#### 事務局

安倍 祥 (東北大学 災害科学国際研究所)  
宮下 加奈 (一般社団法人 減災・復興支援機構)  
新井 智 (文化環境研究所)  
伴野 保 (文化環境研究所)

(五十音順)

# 「遺構・遺物」の保存意義とは 残すことの意義をどう理解していただくか

地震・津波の恐  
ろしさを伝える

防災・減災の訓  
練・知識を伝える

失われた  
景観、生活、伝  
統文化、そして  
命を伝える

犠牲になった  
方々を弔い、鎮  
魂の場とする  
ために

壊滅的な被害を受けた地域の“郷土の歩み”を記憶するために

災害に強い社会づくりのためには震災伝承は不可欠

2012年7月

「3. 11 震災伝承研究会」第1次提言  
— 震災遺構の保存について —

\* 保存遺構の候補46件(宮城県内)

▪ 被災建物・被災集落跡 22件、

(公的施設) 南三陸町防災対策庁舎、交番(女川)

(学 校) 大川小(石巻)、門脇小(石巻)

谷川小(石巻)、鳴瀬2中(東松島)

荒浜小(仙台)、中野小(仙台)

中浜小(山元)

(集落跡) 若林区荒浜小付近ほか

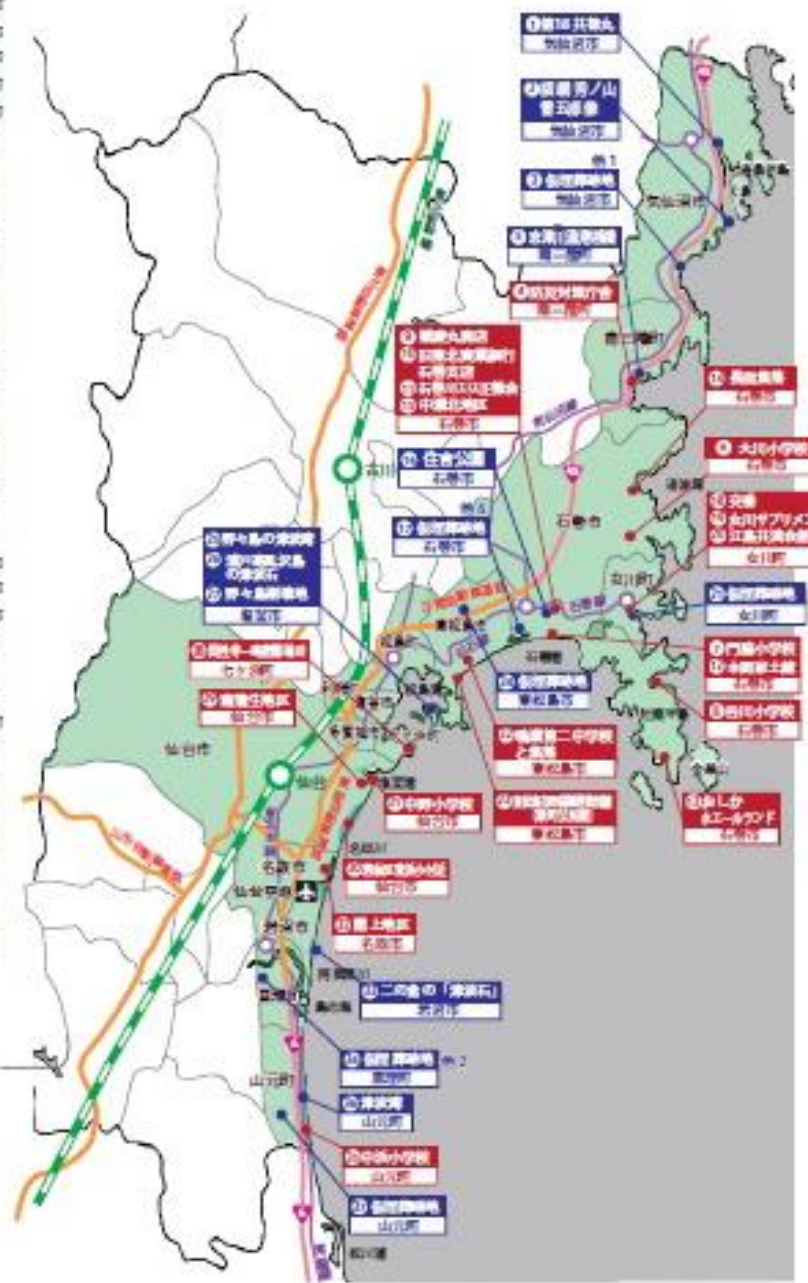
▪ 大型船(共徳丸)、仮埋葬跡地など 24件



# 岩手県宮古市は積極的取り組み たろう観光ホテル」の遺構保存

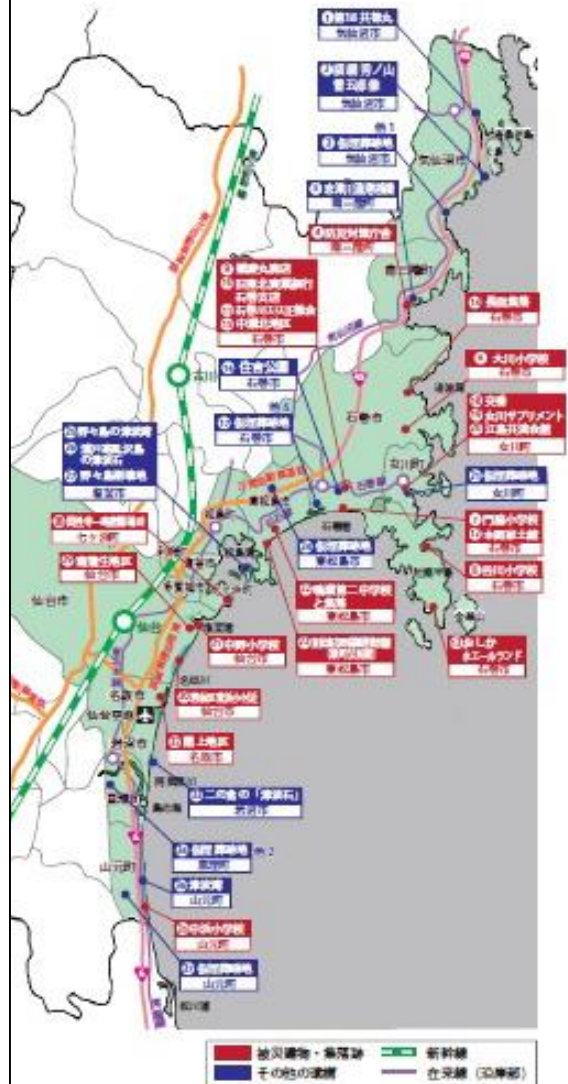
・リストの公表（37か所）と保存活動  
 ・県内自治体へのはたらきかけ  
**震災復旧優先のため取組み困難**

- |                      |      |
|----------------------|------|
| ① 「第1号共済丸」           | 紫波町  |
| ② 福壽 光ノ山霊王遺構         | 紫波町  |
| ③ 復興跡地（2ヶ所）          | 紫波町  |
| ④ 防災対策庁舎             | 紫波町  |
| ⑤ 茨城川漁船橋             | 紫波町  |
| ⑥ 大里小学校              | 石巻市  |
| ⑦ 門脇小学校              | 石巻市  |
| ⑧ 谷口（やがわ）小学校         | 石巻市  |
| ⑨ 復興小学校              | 石巻市  |
| ⑩ 日本北東運輸行石巻支店        | 石巻市  |
| ⑪ 石巻ハリストス正教会         | 石巻市  |
| ⑫ 本間家土蔵              | 石巻市  |
| ⑬ ぶしがか水エールランド        | 石巻市  |
| ⑭ 長谷津屋               | 石巻市  |
| ⑮ 中郷北地区              | 石巻市  |
| ⑯ 佐古公園               | 石巻市  |
| ⑰ 復興跡地（7ヶ所）          | 石巻市  |
| ⑱ 文庫                 | 女川町  |
| ⑲ 女川サブリエント           | 女川町  |
| ⑳ 江島共済会館             | 女川町  |
| ㉑ 復興跡地（1ヶ所）          | 女川町  |
| ㉒ 瑞浪第二中学校と農舎         | 東松島町 |
| ㉓ 東松島町野島地区復興館（新庁舎建設） | 東松島町 |
| ㉔ 復興跡地（1ヶ所）          | 東松島町 |
| ㉕ 野々島の漁民館            | 深谷町  |
| ㉖ 野々島跡地              | 深谷町  |
| ㉗ 野々島跡地              | 深谷町  |
| ㉘ 同色寺一坊跡農舎跡          | 七戸町  |
| ㉙ 南郷地区               | 仙台市  |
| ㉚ 赤松公園 赤松小学校         | 仙台市  |
| ㉛ 中郷小学校              | 仙台市  |
| ㉜ 郡上地区               | 名取市  |
| ㉝ 二の倉の「津波石」          | 名取市  |
| ㉞ 復興跡地（2ヶ所）          | 黒川町  |
| ㉟ 中郷小学校              | 山形町  |
| ㊱ 津波碑                | 山形町  |
| ㊲ 復興跡地（1ヶ所）          | 山形町  |



■ 被災建物・集落跡 ■ 新幹線  
 ■ その他の遺構 ■ 在来線 (JR線)





**国の支援を求めて**

**2012年8月、復興大臣へ要望**

**(宮城復興局・郡和子政務官)**

- ① 国として震災遺構の指定を
- ② 遺構の解体撤去事業の延期
- ③ 保存に関する財政的支援

**2012年10月、宮城県知事への要望**

- ・ 市町レベルで遺構保存は困難
- ・ 県として震災遺構の指定、国の復興交付金による財政支援を

**2012年11月記者会見、宮城県知事、国へ要望**

被災した建物を「震災遺構」として残す取り組みについて、国が統一の方針を示すよう求めた



復興庁 2013年11月  
震災遺構の保存支援を表明

- ①各市町村につき、1箇所を対象
- ② 保存のために必要な初期費用を対象

宮城県 2013年12月  
県震災遺構有識者会議を設置  
座長 平川新 委員9人

市町があげた遺構候補を対象に検討  
遺構候補の価値と保存の意義

# 宮城県震災遺構有識者会議名簿

## 2013年12月～2014年12月

所属・職名	氏名
東北大学災害科学国際研究所所長 (宮城学院女子大学学長)	平川新
公益財団法人 東北活性化研究センターフェ ロー	牛尾陽子
一般社団法人 キッズ・メディア・ステーション代 表理事	太田倫子
一般社団法人 減災・復興支援機構理事長	木村拓郎
立教大学大学院教授	長坂俊成
公益社団法人 日本建築家協会東北支部復興 支援委員会委員長	松本純一郎
宮城県市長会会長(仙台市長)	奥山恵美子
宮城県町村会会長(利府町長)	鈴木勝雄
宮城県震災復興・企画部長	山田義輝

# 震災遺構としての評価項目

## ①破壊力の痕跡

津波の破壊力を示す痕跡が残されているか

## ②教訓

どのような教訓を導き出し得るか

## ③発信力

発信力があるか

## ④鎮魂

鎮魂の場としての性格を有するか

# 保存すべき価値と意義のある遺構 7市町の9遺構

自治体	保存遺構
仙台市	仙台市立荒浜小学校 及び周辺の集落内住宅基礎
石巻市	門脇小学校
気仙沼市	気仙沼向洋高校
東松島市	JR仙石線野蒜駅プラットフォーム 野蒜小学校 浜市小学校
山元町	中浜小学校
女川町	旧女川交番
南三陸町	南三陸町防災対策庁舎



南三陸町防災対策庁舎



門脇小学校(石巻市)



交番(女川)

中浜小学校(山元町)



荒浜小学校(仙台市)



向洋高校(気仙沼市)

# 東松島市



野蒜駅(東松島市)  
東松島市東日本大震災復興祈念公園



野蒜小学校(東松島市)  
防災体験施設に



浜市小学校(東松島市)  
(株)東松島ファームの水耕栽培施設へ

# 南三陸町防災対策庁舎



- ・保存について地元住民の意見が分かれる
- ・他の遺構は保存に住民合意

## 2015年1月 有識者会議としての提言

- ・南三陸町防災対策庁舎は震災遺構としての価値が特段に高い
- ・「拙速に結論を出すのではなく、時間をかけて考えることも検討すべき」
- ・「町のみに対応を委ねることは負担が大きいため、県が関与することも検討すべき」

# 広島原爆ドーム



- \* 広島市街の復興が進むにつれ意見が対立  
記念物として残す「保存」論  
被爆の悲惨さを思い出したくない「解体」論
- \* 1960年代に保存運動が活発化

約20年間、原爆ドームの存否に結論出さず

- \* 1966年、広島市議会が原爆ドーム保存決議

いまや平和祈念公園として核廃絶の世界の聖地に





## 南三陸町防災対策庁舎

2015年12月 有識者会議の提言

「時間をかけて検討すべき」

同年1月、知事、町長に県による管理を提案(20年間)

2015年6月、南三陸町、県有化を受け入れ

**2031年までに存否の結論**

それまでは県が責任をもって管理

# 石巻市震災伝承検討委員会

2013年11月～20214年12月 委員14人(委員長:長平川)

震災の記憶や震災遺構の伝承の仕方  
についての市民アンケート

## <遺構候補>

門脇小学校  
住吉公園  
中瀬北地区

旧石巻ハリストス正教会→修復再建(市有形文化財)

観慶丸商店(石巻市に寄付。市有形文化財)

旧東北実業銀行石巻支店(企業所有)

本間家土蔵(民間支援による修復保存)

大川小学校(別途検討)

震災遺構の候補	
旧門脇小学校	
住吉公園	
中瀬北地区	

市の公園整備  
事業等  
で対応



石巻市震災遺構調整会議  
2015年12月

# 震災遺構の保存

震災の体験と記憶を将来の世代に

人間の記憶は、はかない  
写真、動画、文字などの記録  
現場から切り離された「浮遊する情報」



災害の現場に、災害の痕跡を残す遺構があると、災害のリアリティを追体験



それが教訓の伝承になり  
災害への備えや心構えにつながる



防災と鎮魂の聖地に

# 国営追悼・祈念施設

## 震災関連施設



○ 復興祈念公園

● 岩手県（陸前高田市）  
高田松原津波復興祈念公園 ①



● 宮城県（石巻市）  
石巻南浜津波復興祈念公園 ②



● 福島県（浪江町）  
福島県における復興祈念公園 ③



# 県を越えて震災遺構や施設をネットワーク化

## 2019年設立 3.11 伝承ロード推進機構

「震災伝承施設」の登録状況

### 登録状況

令和4年7月20日時点

	施設数 (件)	分類の内訳		
		第1分類	第2分類	第3分類
青森県内	11 【+3】	5 【+1】	5 【+2】	1 【±0】
岩手県内	120 【+1】	72 【+1】	30 【±0】	18 【±0】
宮城県内	135 【+1】	73 【±0】	34 【±0】	28 【+1】
(うち仙台市)	(22) 【±0】	(10) 【±0】	(8) 【±0】	(4) 【±0】
福島県内	42 【+1】	5 【±0】	24 【+1】	13 【±0】
合計	308 【+6】	155 【+2】	93 【+3】	60 【+1】

【 】内: 令和4年3月30日時点からの差

### 第1分類

災害の教訓が理解できるもの



閑上の津波碑

### 第2分類

公共交通機関等の利便性が高い施設



女川交番

### 第3分類

案内員の配置や語り部活動等のいる施設



門脇小学校



# 「自然の力」と「人間社会」の関係を 知る「学習と観光の場」として

被災地観光 → ダーク・ツーリズム と称される  
震災遺構は「負の遺産」「負の記憶」なのか？

「観光」とは「国の光」を見ること（「易教」）

震災の経験や教訓は、次のステージに向かって人類  
社会を進化させるためのプラスの契機

リバイバル・ツアー

“Revival” は、復活・再生・復興・立ち直り、等々、  
前向きで活力を取り戻す意味

それぞれを「震災の聖地」に

# 「自然の力」と「人間社会」の関係を知る 「学習と観光の場」として



2008年岩手宮城内陸地震で崩落  
した荒砥沢ダム  
2015年栗駒山麓ジオパーク認定



# 「自然の力」と「人間社会」の関係を 知る「学習と観光の場」として

## 震災遺構・伝承施設どうしの広域ネットワークの形成

- \* 点としての震災遺構や伝承施設をつなぐ  
市町を越えたネットワーク → 県のマネジメント  
「震災伝承みやぎコンソーシアム」
- 県を越えたネットワーク → 国のマネジメント  
「3.11 伝承ロード推進機構」

## 震災遺構・伝承施設と周辺名所や食の組合わせ

## 新しい東北交流の場の創出



## 震災を語り伝え、語り継ぐとは

同時代、そして将来に向けて、  
3.11の記憶を呼び覚まし、  
震災経験を共有化し、教訓化していく  
ための知恵

